

第2次岡崎市版レッドリスト2018に対する市民意見の募集結果

1 市見意見募集の概要

(1) 意見募集期間

平成29年11月10日（金）から平成29年12月10日（日）まで

(2) 実施結果

ア 意見提出者数 1人

イ 延べ意見件数 1件

(3) 内訳

ア 対象分類群別 昆虫類 1件

イ 意見の内容別 レッドリスト掲載種及び評価区分に関する意見 1件

2 市民意見の内容と市の回答（案）

市民意見	市の回答（案）
<p>私は2006年頃より岡崎でトンボ類を中心に昆虫の調査を行っています。トンボ調査はヤゴの生息を確認することが有効でヤゴ調査をメインに実施しています。この経験から岡崎市版レッドリスト2017案におけるトンボ類に関して意見及び情報をコメントします。</p> <p>① No.4 トラフトンボ（EX） EXに指定されていますが、今年5月6日に市内の池で成虫の飛翔を確認しました。他の方も同池で昨年成虫を確認し、また今年5月4日に成虫を写真撮影されています。生息数は少ないながら同池で発生している可能性があり、ヤゴ調査を継続していますが確認できていません。同池にはブラックバス、ブルーギル、アメリカザリガニ等が繁殖し、トンボにとっては厳しい環境ですがスイレン等の水生植物があり、ヨツボシトンボ、チョウトンボ、ベニイトトンボが生息しています。</p> <p>② No.25 ムカシトンボ（VU） 生息数は多くはありませんが山間部に分布しており、VUの定性的要件1、2には相当していないと考えます。</p> <p>③ No.26 コシボソヤンマ（VU） 成虫を見る機会は少ないですがヤゴ調査では山際の河川に分布しておりVUの定性的要件1、2には相当していないと考えます。</p>	<p>① 本種は主に平地から丘陵地にある浮葉植物が豊富な比較的大きなため池に生息します。市内では岡町のため池で生息が確認されましたが、埋め立てによって発生地が消失し、1977年が最後の記録となっています。今回ご提供いただいた情報については、本種が昔から細々と生息を維持していた可能性もありますが、市内で約40年間記録がなく、市外からの水草の移入等に伴う一時的な発生の可能性も否定できないことから、現時点ではEXとして評価しました。今後、継続的な調査が必要と考えます。</p> <p>②③ これらの種については、個体数が少ないこと、生息条件の悪化や捕獲圧の増大が懸念されることから、NTよりも絶滅のおそれの程度が高いVUに相当すると評価しました。</p>

<p>④ No.45 モートンイトトンボ (NT) 岡崎市内では近年全く見られず、VU 以上に相当していると考えます。</p> <p>⑤ No.48 キイロヤマトンボ (NT) 最新の分類ではヤマトンボ科です。</p>	<p>④ 本種は生息が確認できない年もありますが、長期的な傾向を考慮し、NT に相当すると評価しました。</p> <p>⑤ ご指摘のとおりですので、科名をヤマトンボ科に修正します。</p> <p>なお、ご指摘のありましたご意見及び情報を考慮して情報収集を引き続き行い、その結果に基づきレッドリストを検討し、今後の改訂において必要に応じて変更します。</p>
---	--